

# HPVワクチンは定期接種で受けられます

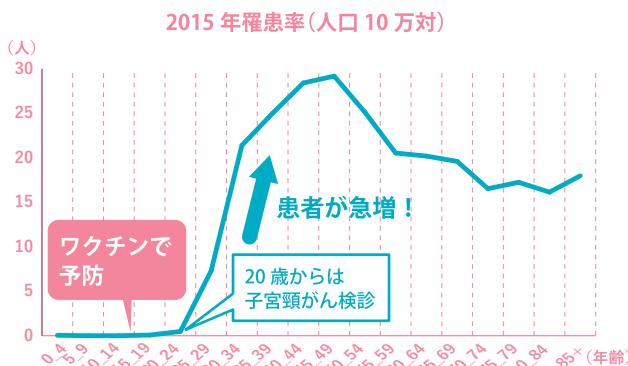
# 6年生になつたら HPV ワクチン

対象

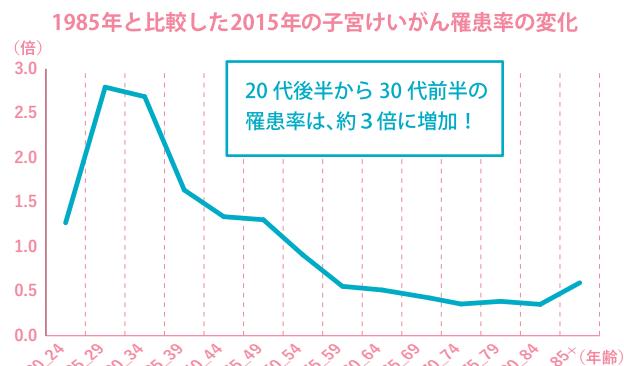
小学校6年生から  
高校1年生の女子

子宮けいがんの原因の HPV感染の50～70%は、  
HPVワクチンで予防できます。

子宮けいがんは30代から増える！



30年間で20代から30代の子宮けいがんが増加



出典：国立がん研究センター がん情報サービスがん登録・統計より作図

みんなどうする？

HPVワクチン

HPVワクチンの定期接種対象者の保護者の方へ

あなたのお考えを投票してください。リアルタイムで結果がわかります。



**KNOW★VPD!**  
VPDを知って、子どもを守ろう。

6年生になつたら！ HPVワクチン

<http://www.know-vpd.jp/>

VPD

検索

# 子宮けいがんってどんな病気？

## ● 30代から40代に多い女性特有のがん

子宮けいがんは、20代から増え始め、30代から40代の女性に多いがんです。年間約1万人が発症し、約3000人が亡くなっています。

## ● 原因はヒトパピローマウイルス(HPV)

子宮けいがんは、HPVに感染し、持続的に感染することで発症するがんです。HPVは性交渉によって感染し、性交渉の経験がある女性は誰でも感染する可能性があります。HPV感染からがんの発症までは、数年から10年以上かかるといわれています。

## ● HPVワクチンとは？

HPVワクチンは、HPVの感染を予防します。国内、海外から効果と安全性を示す報告があります。

オーストラリア



2007年から学齢期の女子を対象に定期接種に（男子は2013年導入）。18歳未満の前がん病変の発生率が低下。2028年までに子宮けいがんと診断される女性が10万人に4例未満に減少すると推計されている。

アメリカ



HPVワクチンで予防できるウイルスが原因の前がん病変の発症数は、2008年から2014年で3分の2に減少。発症率は、HPVワクチン接種者で約4割が減少。

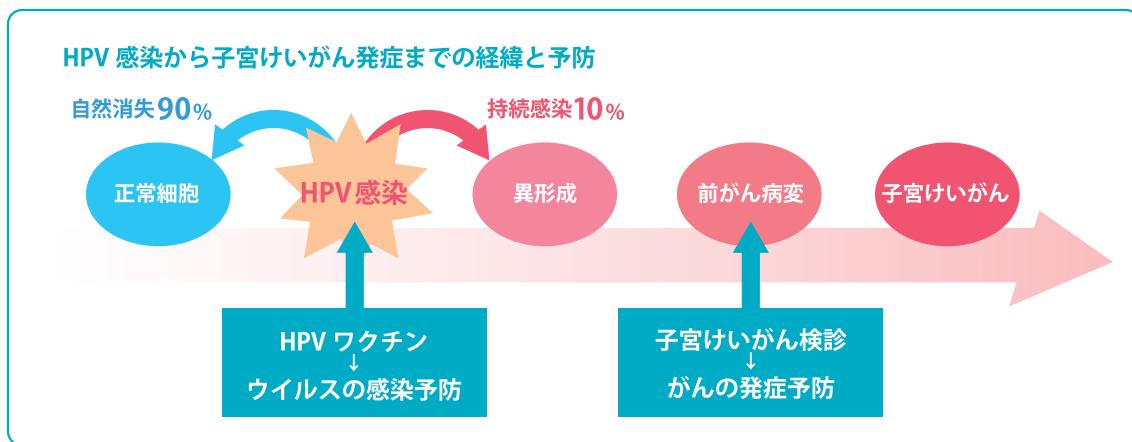
名古屋スタディ



名古屋市内小学校6年生から高校3年生までの女子を対象とした大規模調査の結果、接種後副反応の24項目の症状の発生率は、接種者と非接種者で違いがなく、接種と接種後の症状との因果関係がないと結論付けられた。

## ● ワクチンと検診で予防

HPVワクチンは、子宮けいがんになりやすいHPV(16型と18型の2種類)による感染を予防します。子宮けいがん検診は、HPVに持続感染することで発症する子宮頸がんを早期に発見し、手術により死亡や重症化を減らします。



6年生になったらワクチンで予防、20歳になったら検診で早期発見。どちらも大切です。